

平成31年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月15日

上場会社名 TONE株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5967 URL https://tonetool.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松村 昌造  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 井上 昌良 TEL 06-6649-5967  
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年5月期第1四半期の連結業績（平成30年6月1日～平成30年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成31年5月期第1四半期	1,137	17.1	65	42.4	93	46.6	63	14.5
平成30年5月期第1四半期	971	△4.2	46	△36.0	63	13.1	55	192.7

(注) 包括利益 平成31年5月期第1四半期 52百万円 (△43.5%) 平成30年5月期第1四半期 92百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
平成31年5月期第1四半期	30.70	-
平成30年5月期第1四半期	26.82	-

(注) 平成29年12月1日付で普通株式5株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
平成31年5月期第1四半期	7,469	5,699	76.3
平成30年5月期	7,733	5,791	74.9

(参考) 自己資本 平成31年5月期第1四半期 5,699百万円 平成30年5月期 5,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
平成30年5月期	-	-	-	70.00	70.00
平成31年5月期	-	-	-	-	-
平成31年5月期(予想)	-	-	-	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成30年5月期期末配当金の内訳 普通配当60円 記念配当10円(設立80周年記念配当)

3. 平成31年5月期の連結業績予想（平成30年6月1日～平成31年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,100	18.8	480	6.1	485	1.9	330	△4.3	160.17
通期	6,390	4.4	1,020	△9.5	1,030	△10.7	720	△10.8	349.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	平成31年5月期1Q	2,342,600株	平成30年5月期	2,342,600株
② 期末自己株式数	平成31年5月期1Q	282,289株	平成30年5月期	282,289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	平成31年5月期1Q	2,060,311株	平成30年5月期1Q	2,060,736株

(注) 平成29年12月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、米国の保護主義政策及びそれに伴う貿易摩擦への懸念などによる世界経済の不確実性は継続しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは「『ボルディング・ソリューション・カンパニー』として社会の発展に貢献し、地球上になくなくてはならない企業をめざす。」ことを企業理念に掲げ、お客様が求める価値を的確に捉え、「スピード感と一体感のある製品開発体制」を基軸に保有技術を有効的に活用し、「締付」をキーワードとした幅広い製品群の開発・製造・販売を推進し、より多くのお客様に「ボルト締結」に最適な手段を提供してまいりました。

また、設立80周年を記念したセールを展開し、積極的に販売促進を図るとともに、デザインを一新した「次世代工具シリーズ」の拡販、主力製品「シャーレンチ」製品群及び充実のラインアップを誇る「ナットランナー」製品群の販売強化に加え、安全管理の要「トルク管理」製品群など、競争優位性の高い製品群の拡販に加え、お客様要望に応えた特殊品対応を行うことによる市場ニーズの把握、新規市場開拓を図るなど売上高の伸長に懸命な努力をいたしました。

さらに、「TONEブランド戦略」として、引き続きモータースポーツの応援やレーサーサポート、レース協賛などを積極的に展開することにより、より多くの人々に「TONEブランド」の魅力を伝えるとともに、現場の要望を研究・開発に活かした企画・新製品を展開するなど、新たなTONEの可能性を追求してまいりました。

その結果、作業工具類の売上高は、6億9千1百万円となりました。機器類の売上高は、動きが回復しつつある建築土木市場の影響もあり、4億4千6百万円となりました。

従いまして、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は11億3千7百万円（前年同期比17.1%増）となりました。また、利益面では営業利益は6千5百万円（前年同期比42.4%増）、経常利益は9千3百万円（前年同期比46.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は6千3百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### (西日本)

「ボルト締結分野」における競争優位性の高い製品群を基軸に、ユーザー向けPRやデモ活動を推進するなど売上高の伸長に懸命な努力を行いました。また、4,000点以上のTONE製品群を誇るショールーム（大阪府河内長野市・河内長野工場内）において、実際に製品群に触れていただき、最適な「ボルト締結」を体験していただくことに注力し、市場深耕に努めてまいりました。その結果、売上高は、4億4千9百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は4千6百万円（前年同期比29.4%増）となりました。

#### (東日本)

「TONEブランド戦略」を背景に、自動車関連での販路拡大を図ったことにより、「トルク管理」製品群の販売増加に寄与しました。機器類については建築、航空、鉄道業向けの特典対応した製品群を取り揃え、売上拡大に努めてまいりました。その結果、売上高は、5億8百万円（前年同期比18.4%増）、セグメント利益は2千5百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

#### (海外)

東アジア・欧州市場での売上回復の動きは依然として弱含みではあるものの、北米市場では一部に回復の兆しも見られ、併せて新規開拓地域でも売上を順調に獲得してまいりました。その結果、売上高は、1億7千9百万円（前年同期比76.6%増）、セグメント損失は5百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

資産合計は74億6千9百万円となり前連結会計年度末に比べ2億6千4百万円減少しました。この主な要因は、商品及び製品の増加1億7千3百万円等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少4億3千7百万円等によるものであります。

#### (負債)

負債合計は17億7千万円となり前連結会計年度末に比べ1億7千1百万円減少しました。この主な要因は、未払法人税の減少1億5千9百万円、賞与引当金の減少5千6百万円等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は56億9千9百万円となり前連結会計年度末に比べ9千2百万円減少しました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益6千3百万円の計上がありました。また、剰余金の配当1億4千4百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年5月期の業績予想につきましては、平成30年7月12日に公表いたしました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年 5 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成30年 8 月 31 日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	514,589	450,694
受取手形及び売掛金	1,796,478	1,358,717
商品及び製品	1,274,003	1,447,528
仕掛品	435,872	465,528
原材料及び貯蔵品	765,225	799,746
その他	36,948	51,495
貸倒引当金	△5,730	△4,470
流動資産合計	4,817,387	4,569,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	592,869	607,313
機械装置及び運搬具（純額）	128,486	115,368
工具、器具及び備品（純額）	22,489	19,329
土地	1,037,256	1,037,256
リース資産（純額）	12,982	26,114
建設仮勘定	26,114	11,033
有形固定資産合計	1,820,198	1,816,416
無形固定資産		
リース資産	4,266	3,672
その他	48,920	45,766
無形固定資産合計	53,186	49,438
投資その他の資産		
投資有価証券	773,050	761,843
その他	269,767	272,614
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,042,817	1,034,457
固定資産合計	2,916,202	2,900,312
資産合計	7,733,590	7,469,553

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年 5 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成30年 8 月 31 日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	627,488	632,717
短期借入金	440,467	458,675
リース債務	15,402	13,753
未払法人税等	170,685	11,091
賞与引当金	101,452	45,023
未払金	142,208	170,476
未払費用	53,136	57,377
その他	39,137	42,440
流動負債合計	1,589,978	1,431,554
固定負債		
長期借入金	101,460	84,570
リース債務	2,585	1,534
繰延税金負債	115,945	140,322
退職給付に係る負債	109,279	98,668
資産除去債務	3,780	3,780
長期未払金	16,628	7,326
その他	2,700	2,700
固定負債合計	352,378	338,900
負債合計	1,942,356	1,770,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	163,380	163,380
利益剰余金	5,040,676	4,959,387
自己株式	△372,572	△372,572
株主資本合計	5,436,483	5,355,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	353,514	345,757
為替換算調整勘定	1,234	△1,853
その他の包括利益累計額合計	354,749	343,903
純資産合計	5,791,233	5,699,098
負債純資産合計	7,733,590	7,469,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 6 月 1 日 至 平成29年 8 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 6 月 1 日 至 平成30年 8 月 31 日)
売上高	971,125	1,137,601
売上原価	586,524	658,254
売上総利益	384,601	479,346
販売費及び一般管理費	338,318	413,446
営業利益	46,282	65,900
営業外収益		
受取利息	133	370
受取配当金	12,484	13,533
為替差益	—	11,815
その他	6,371	2,093
営業外収益合計	18,989	27,812
営業外費用		
支払利息	626	451
為替差損	809	—
その他	235	33
営業外費用合計	1,671	485
経常利益	63,599	93,227
税金等調整前四半期純利益	63,599	93,227
法人税、住民税及び事業税	1,260	2,139
法人税等調整額	7,071	27,826
法人税等合計	8,331	29,965
四半期純利益	55,268	63,261
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,268	63,261



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 6 月 1 日 至 平成29年 8 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 6 月 1 日 至 平成30年 8 月 31 日)
四半期純利益	55,268	63,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,068	△7,757
為替換算調整勘定	△1,551	△3,088
その他の包括利益合計	37,516	△10,846
四半期包括利益	92,784	52,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,784	52,415
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- ① 前第1四半期連結累計期間（自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	439,799	429,610	101,715	971,125	—	971,125
セグメント間の内部売 上高又は振替高	887	—	—	887	△887	—
計	440,686	429,610	101,715	972,012	△887	971,125
セグメント利益 又は損失 (△)	36,197	22,674	△12,247	46,624	△341	46,282

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- ② 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年6月1日 至 平成30年8月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	449,408	508,534	179,657	1,137,601	—	1,137,601
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	1,571	—	1,571	△1,571	—
計	449,408	510,105	179,657	1,139,172	△1,571	1,137,601
セグメント利益 又は損失 (△)	46,834	25,421	△5,724	66,531	△631	65,900

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。